

年
  組
  番 名前

**教材 7 - E - (1) 近代から現代までの出来事**

次の（ア）～（ソ）の説明はどの時代のものであるかを、【表】の中の～から選び、番号で答えなさい。

**【表】**

明治 (1868～1912)		大正 (1912～1926)	昭和 (1926～1989)	平成 1989～
明治維新 立憲国家  (1868～1890)	日清・日露戦 争 近代産業  (1891～1913)	第一次世界大 戦と日本 大正デモクシー  (1914～1928)	世界恐慌 第二次世界大 戦と日本  (1929～1945)	現代の日本と 世界  (1945～)

**【出来事】**

- (ア) 民主主義をわかりやすい表現で説いた福沢諭吉の「学問のすすめ」や、中江兆民が紹介したルソーの思想は青年たちに大きな影響を与えた。
- (イ) 女性差別からの解放をめざす女性運動もさかんになり、平塚らいてう（らいちょう）は新婦人協会を結成した。
- (ウ) 日清戦争で得た賠償金をもとに官営の八幡製鉄所が建設され、国内の鉄鋼生産の大部分をしめ、日本の重化学工業の基礎となった。
- (エ) 国会の開設を勝ち取ったのち自由民権運動は政党の結成と進み、自由党や立憲改進黨が結成された。
- (オ) 衆議院第一党の立憲政友会総裁の原敬を首相とし、陸軍、海軍、外務の3大臣以外はすべて立憲政友会の党員で組織する本格的な政党内閣が成立した。
- (カ) 部落差別に苦しんでいた被差別部落の人々も、政府にたよらず自らの力で人間としての平等を勝ち取ろうと全国水平社を結成して運動を展開した。
- (キ) 国民が政治に参加できる道を開くべきだとした民撰議院設立の建白書が提出され、国会の開設を求めた。
- (ク) 陸軍の青年将校が軍事政権の樹立によって政治改革を実現しようとして、首相官邸や警視庁を襲撃した。
- (ケ) 社会運動の高まりの中で、社会主義の活動が再び活発になった。また、ロシア革命の影響で共産主義への関心が急速に広がると、日本共産党が結成された。

- (コ) 「<sup>きよこくいつち</sup>拳国一致」の体制をつくる運動が始まり、ほとんどの政党や団体は解散し、国民を戦争に動員する機関として新たに結成された<sup>たいせいよくさんかい</sup>大政翼賛会に合流した。
- (サ) <sup>ちようせん</sup>朝鮮では「<sup>こうみんか</sup>皇民化」の名のもとに、日本語の使用や<sup>そうしがいめい</sup>創氏改名が行われた。また、労働力や志願兵として、朝鮮の人々も戦争に動員された。
- (シ) 日本本土や沖縄のアメリカ軍基地が使用され、大量の<sup>くんじゅうぶつし</sup>軍需物資が日本で調達されたため日本経済は好景気となり経済復興が早まった。
- (ス) <sup>ほんばつ</sup>藩閥政治への批判は言論によるものが中心となり、国民が政治に参加する権利の確立をめざす自由民権運動が広まった。
- (セ) 労働力が不足したため、中学生や女学生や未婚の女性も勤労働員の対象となり軍需工場で働かされた。都市の小学生は農村に<sup>そかい</sup>集団で疎開した。
- (ソ) <sup>よしのさくぞう</sup>吉野作造は、普通選挙によって国民の意向を政治に反映させることなどを主張した。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)

(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)

(サ)	(シ)	(ス)	(セ)	(ソ)